

ジュサラ椰子保存の日本 NGO が新しい段階に入った

9月13日、2012年からセッチバラスで日本 NGO の VERSTA が日本政府環境省地球環境基金の支援で行っているブラジル大西洋沿岸林再生アグロフォレストリー普及支援が、新しい段階に入った。

VERSTA は、更に3年の2020年3月までの助成金支援の期間を延長した。この新しい段階の計画発表はラポーザ地区で、日本 NGO・VERSTA の専務理事小野瀬由一氏参加のもと行われる。

SAF (アグロフォレストリー) –ジュサラーとして知られているこのシステムは、リオプレットで始まり、2015年にはラポーザ地区に広がり、現在12の農家が参加している。この事業の目的は、大西洋沿岸の本来の森林や果樹（特に絶滅危惧種であるジュサラー椰子を中心に据えて）をアグロフォレストリー (SAF) の方法で再生して、地球の温室効果を削減することである。主作物であるマンジョーカ・豆・かぼちゃ・その他の食用野菜の間に耕作をする。